

## 化学療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	催吐リスク	適応
Bev/CDDP/PEM	非小細胞肺癌	高度	/

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	ソルデム1号500mL	2本	点滴	終了まで持続点滴	day1
②	生食100mL アバスチン注15mg/kg	1本	点滴	初回90分 2回目60分 3回目以降30分	day1
③	グラニセトロン注3mg100mL デキサート注3.3mg2A	1本	点滴	30分	day1
④	生食100mL アリムタ注500mg/m <sup>2</sup>	1本	点滴	10分	day1
⑤	生食50mL	1本	点滴	全開(フラッシュ用)	day1
⑥	ニソリM注500mL プリンペラン注	1本	点滴	120分	day1、2、3
⑦	生食500mL シスプラチン75mg/m <sup>2</sup>	1本	点滴	120分	day1
⑧	ソルデム3A500mL フロセミド注20mg0.5A	1本	点滴	120分	day1、2、3
1コースの期間 3週間		投与スケジュールおよび総コース数 PDまで			
特徴的な副作用					
アバスチン: 高血圧、蛋白尿 シスプラチン: 腎障害、末梢神経障害 アリムタ: 骨髄抑制・重篤な副作用防止のため、下記処方を行うこと。					
注意事項					
PEM初回投与の7日以上前から葉酸0.5mg/dayを連日経口投与。 PEM初回投与の少なくとも7日前にビタミンB12 1mg/回を筋肉内注射し、その後約9週ごと(3サイクルごと)1回投与する。 アプレピタントを併用する。					

海南医療センター 化学療法委員会

## 化学療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	催吐リスク	適応
nab-PTX/CBDCA	非小細胞肺がん	中等度	/

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生食250mL(ルートキープ)	1本	点滴	終了までルートキープ	day1、8、15
②	グラニセトロン注3mg100mL デキサート注3.3mg2A	1本	点滴	30分	day1、8、15
③	生食100mL アブラキサン注100mg/m <sup>2</sup>	1本	点滴	30分	day1、8、15
④	生食50mL	1本	点滴	全開(フラッシュ用)	day1
⑤	生食500mL カルボプラチン注6AUC	1本	点滴	120分	day1
⑥	生食50mL	1本	点滴	全開(フラッシュ用)	day1
1コースの期間 3週間		投与スケジュールおよび総コース数 6コース			
特徴的な副作用					
カルボプラチン:末梢神経障害 アブラキサン:末梢神経障害					
注意事項					
アブラキサン:溶解マニュアル参照すること。					

## 化学療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	催吐リスク	適応
CDDP/PEM	非小細胞肺がん	軽度	/

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	ソルデム1号500mL	2本	点滴	終了まで持続点滴	day1
②	グラニセトロン注3mg100mL デキサート注3.3mg2A	1本	点滴	30分	day1
③	生食100mL アリムタ注500mg/m <sup>2</sup>	1本	点滴	10分	day1
④	生食50mL	1本	点滴	全開(フラッシュ用)	day1
⑤	ニソリM注500mL プリンペラン注	1本	点滴	120分	day1、2、3
⑥	生食500mL シスプラチン75mg/m <sup>2</sup>	1本	点滴	120分	day1
⑦	ソルデム3A500mL フロセミド注20mg0.5A	1本	点滴	120分	day1、2、3
1コースの期間 3週間		投与スケジュールおよび総コース数 PDまで			
特徴的な副作用					
シスプラチン: 腎障害、末梢神経障害 アリムタ: 骨髄抑制・重篤な副作用防止のため、下記処方を行うこと。					
注意事項					
PEM初回投与の7日以上前から葉酸0.5mg/dayを連日経口投与。 PEM初回投与の少なくとも7日前にビタミンB12 1mg/回を筋肉内注射し、その後約9週ごと(3サイクルごと)1回投与する。 アプレピタントを併用する。					

# 化学療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	催吐リスク	適応
DTX	非小細胞肺がん	軽度	

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生食250mL(ルートキープ)	1本	点滴	終了までルートキープ	day1
②	グラニセトロン注3mg100mL デキサート注3.3mg2A	1本	点滴	30分	day1
③	ブドウ糖液250mL ドセタキセル注60mg/m <sup>2</sup>	1本	点滴	60分	day1
1コースの期間 3週間		投与スケジュールおよび総コース数 PDまで			
特徴的な副作用					
ドセタキセル:末梢神経障害					
注意事項					

## 化学療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	催吐リスク	適応
PEM	非小細胞肺がん	軽度	maintenance

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生食250mL(ルートキープ)	1本	点滴	終了までルートキープ	day1
②	グラニセトロン注3mg100mL デキサート注3.3mg2A	1本	点滴	30分	day1
③	生食100mL アリムタ注500mg/m <sup>2</sup>	1本	点滴	10分	day1
④	生食50mL	1本	点滴	全開(フラッシュ用)	day1
1コースの期間 3週間		投与スケジュールおよび総コース数 PDまで			
特徴的な副作用					
アリムタ: 骨髄抑制・重篤な副作用防止のため、下記処方を行うこと。					
注意事項					
PEM初回投与の7日以上前から葉酸0.5mg/dayを連日経口投与。 PEM初回投与の少なくとも7日前にビタミンB12 1mg/回を筋肉内注射し、その後約9週ごと(3サイクルごと)1回投与する。					

海南医療センター 化学療法委員会

# 化学療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	催吐リスク	適応
オプジーボ	非小細胞肺がん	最小	

順序	投与薬剤	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日
①	生食250mL(ルートキープ)	1本	点滴	終了までルートキープ	day1
②	生食100mL オプジーボ240mg/Body	1本	点滴(フィルター付き 輸液セット)	30分	day1
1コースの期間 2週間		投与スケジュールおよび総コース数 PDまで			
特徴的な副作用 オプジーボ:免疫関連副作用(間質性肺炎、大腸炎/下痢、肝機能障害、1型糖尿病、下垂体機能障害)					
注意事項					

海南医療センター 化学療法委員会

# 化学療法レジメン

レジメン名称	対象がん種	催吐リスク	適応
キイトルーダ	非小細胞肺癌	軽度	PD-L1陽性

順序	投与薬剤	1日投与量	投与法	投与時間	投与日
①	生食250mL(ルートキープ)	1本	点滴	終了までルートキープ	day1
②	生食100mL キイトルーダ注200mg/Body	1本	点滴(フイ ルター付き 輸液セッ ト)	30分	day1
1コースの期間 3週間		投与スケジュールおよび総コース数 PDまで			
特徴的な副作用 キイトルーダ:免疫関連副作用(間質性肺炎、大腸炎/下痢、肝機能障害、1型糖尿病、下垂体機能障害)					
注意事項					

海南医療センター 化学療法委員会